

ポーランド政治・社会情勢

(2012年3月15日～21日)

平成 24 年(2012 年)3 月 23 日

H E A D L I N E S

政治

聖職者の年金及び社会保障制度に関する協議
 トゥスク首相, 欧州委員会委員長選への立候補の噂を否定
 トゥスク首相とパヴラク副首相, 年金改革をめくり合意に至らず
 アフガニスタン派遣部隊の派遣期間延長
 下院外交委員会が次期駐日大使を承認
 アフガニスタン戦略に関する国家安全保障会議の開催
 新モルドバ大統領の選出を歓迎
 シェモニャク国防相がウズベキスタン及びグルジアを訪問
 シコルスキ外相がドイツを訪問
 コモロフスキ大統領がウクライナ首相と会談
 ポーランドと中国が第1回目の戦略対話を実施
 ディ・パオラ伊国防相がポーランド訪問

経済

ロトス社, 米国のCalEnergy社と合併事業について協議
 2月の自動車登録台数が増加
 エネルガ社買収にPGNiG社が参加する可能性あり
 ガス・システム社が巨額の投資を計画
 エネルガ社が電力グリッドに14億ズロチ投資
 石炭会社のKW社が民営化の可能性
 家電生産が好調
 2月の鉱工業生産, 伸びが減速
 エネルギー規制局がガス価格引き上げを認可
 専門家, 「多くの新規発電所建設計画が非現実的」と発言
 GE日立社, シチェンに原発建設資材生産拠点の設立を検討
 欧州開発銀行, 本年の投資見込みを発表
 ベルカ中央銀行総裁による経済見通し
 ポーランド国債の外国人保有率が上昇
 所得格差の是正が進む
 政府の投資促進計画, 経済・財務両省で合意
 地質研究所がシェール・ガスの推定埋蔵量を発表

社会

中古車がより人気に
 25日から夏時間が開始

大使館からのお知らせ

平成24年度分教科書の配付について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

読者からの情報提供

国立音楽大学附属高校合唱部による演奏会開催

在ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000
http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、在留届を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先: 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書 在外投票 旅券 戸籍 国籍関係の届出についてもどうぞ。

政	治
内	政

聖職者の年金及び社会保障制度に関する協議【15日】

15日、政府・教会合同協議が行われ、ポニ行政デジタル相は、聖職者の年金及び社会保障の改革を主張し、教会基金の廃止及びこれに代わり、納税者が自らの所得税の0.3%分を教会に寄進できる制度を導入することを提案した。コバルチク・ポーランドカトリック教会首座大司教は、同提案を非難。

トゥスク首相、欧州委員会委員長選への立候補の噂を否定【16日】

16日、トゥスク首相は、同首相が2014年の欧州

委員会委員長選(パローゾ現委員長の後任)への立候補を目指しているとの一部報道に関し、そのようなことはないとの否定。

トゥスク首相とパヴラク副首相、年金改革をめくり合意に至らず【20日】

20日、トゥスク首相(「市民プラットフォーム」(PO)党首)とパヴラク副首相兼経済相(農民党(PSL)党首)が与党首脳会談を行い、政府の年金改革法案に関し議論したが、パヴラク副首相はPSLの対案を提案し、双方で合意には至らなかった。

外	交
---	---

アフガニスタン派遣部隊の派遣期間延長【13日】

13日、コモロフスキ大統領はポーランド軍アフガニスタン派遣部隊の派遣期間を2012年10月13日まで延長する政府案に署名。派遣規模は現在と変わらず2,500名(国内待機予備200名)。14日、シェモニャク国防相は、今秋の部隊交替時には数百名縮小される予定と発言。

下院外交委員会が次期駐日大使を承認【15日】

15日、下院外交委員会はツィリル・ゴザチェフスキ外務省共通外交安全保障政策局長を駐日ポーランド大使として承認。今後、大統領からの任命を経て発令される予定。

アフガニスタン戦略に関する国家安全保障会議の開催【15日】

15日、5月にシカゴにて開催されるNATOサミットに向け、アフガニスタン戦略に関する国家安全保障会議が開催された。コモロフスキ大統領は、2014年の撤収については、計画に沿って適切に行うと強調。

新モルドバ大統領の選出を歓迎【16日】

16日、ポーランド外務省はモルドバ大統領にティモティフ氏が選出されたことを歓迎。内政の安定と外交関係の進歩を期待し、引き続き欧州連合統合に向けて支持する旨の声明を発表。

シェモニャク国防相がウズベキスタン及びグルジアを訪問【16日】

16日、シェモニャク国防相はウズベキスタンを訪問。バルディエフ国防相と会談し、アフガニスタン情

勢、両国の防衛協力等について協議。グルジア・トリビシでは、アクハライ国防相、トカンコタジェ参謀総長と会談。

シコルスキ外相がドイツを訪問【20~21日】

20日、シコルスキ外相はベルリンで独、ベルギー、オーストリア、スペイン、ポルトガル、伊、蘭、デンマーク外相と、欧州統合に向けた共通の方向性を協議する非公式会合に出席。21日、同地にて独及び露の外相とも会談し、シリア情勢、独・露・ポーランド三国間協力、EU対ロシア関係について協議した。

コモロフスキ大統領がウクライナ首相と会談【21日】

21日、コモロフスキ大統領はワルシャワでウクライナのアザロフ首相と会談し、ウクライナ対EU連合協定署名に向けて協議。サッカー欧州選手権「EURO2012」に関する意見交換も行った。

ポーランドと中国が第1回目の戦略対話を実施【21日】

21日、ワルシャワで、ポミャノフスキ外務次官と宋濤中国外交部副部長による最初の戦略対話が行われた。両国は、昨年12月20日に(コモロフスキ大統領の中国訪問の際)、北京にて戦略的パートナーシップに署名。今次戦略対話においては、温家宝首相のポーランド訪問(本年4月予定)についても協議した。

ディ・パオラ伊国防相がポーランド訪問【21日】

21日、ディ・パオラ伊国防相がポーランドを訪問。シェモニャク国防相と会談し、両国の防衛協力に関する覚書に署名。

経 済

ロトス社、米国のCalEnergy社と合併事業について協議【16日】

昨年12月の政府の売却計画(ロトス社の53%の株式を戦略的投資家に売却)は失敗に終わったが、現在、ロトス社は米国のCalEnergy Resources社との間で、バルト海に所有する権益を共同研究・開発することを協議していると、プレス・ビジネス紙が報じている。CalEnergy社は、ロトス社の在来型ガス及びシェール・ガス双方の開発を支援する見込み。

2月の自動車登録台数が増加【16日】

欧州自動車工業会(ACEA)によれば、ポーランドの2月の自動車登録台数は、前年同期比9.0%増の23,884台となった。年初以来48,169台が登録されており、前年同期比15.2%増となっている。

エネルギー買収にPGNiG社が参加する可能性あり【16日】

消費者保護・競争庁(UOKiK)がPGE社によるエネルギー社の買収計画を不承認としたことを受けPGE社が不服申し立てを行ったことに関し、裁判所は5月に裁定を下す見通し。エネルギー社については、国有財産省が年内に売却する計画を有しているが、同省は裁判所がUOKiKによる合併禁止措置を停止する可能性が高いとみている。このため、同省はエネルギー社をPGNiG社へ売却することを検討していると報じられている。PGNiG社は過去にもエネルギー社買収に関心を示しており、買収計画を再開する可能性がある。

ガス・システム社が巨額の投資を計画【19日】

ガス・システム社のチャダムCEOは、ガスの熱電併給施設をシフィノウィシチェのLNGターミナル付近に建設する計画を発表。投資コストは5億ズロチ以上と見られている。2016年までに86MWの能力を持つ施設を2基稼働させる。同社は液化ガスを加熱する施設を必要としており、電力は自社需要を賄いつつ、市場余剰を売却する。また、30億m³に及ぶガス貯蔵施設を25億ズロチかけてポーランド又はリトアニアに建設する投資計画も検討中。

エネルギー社が電力グリッドに14億ズロチ投資【19日】

本2012年、エネルギー社は同社の2009年から2015年の全投資計画の1/5にあたる14億ズロチを電力グリッドの更新に充てる。電力需要の増加及び電力網に接続される再生可能エネルギーの増加

に対応できるよう電力網を適合させるため。ここ数年で最も多く電力不足が生じた地域を優先的に投資していく。

石炭会社のKW社が民営化の可能性【19日】

トムチキエピッチ経済省副大臣は、タンボルスキ国有財産副大臣とともにシロンスク県を訪問し、石炭会社のKompania Weglowa(KW)社、Weglokoks(W)社及びKatowicki Holding Weglowy(KHW)社の役員と会談。トムチキエピッチ副大臣は、KW社の決算をふまえれば2014年の同社の民営化を十分検討できるとしつつ、また、W社は本年末までに民営化することが可能と述べた。他方、KHW社については言及を避けた。

家電生産が好調【20日】

ポーランドの2011年全体の家電輸出額は130億ズロチとなり、前年より15%以上伸びた。欧州全体において生産の伸びが減速し続けているため、特に注目される。ポーランドは家電を数百万台生産し、世界的な生産拠点となっている。生産されている家電のうち、平均で80~90%が輸出されている。2011年にポーランドで製造された家電製品の4分の1が洗濯機であった。

2月の鉱工業生産、伸びが減速【20日】

中央統計局の発表によると、2月の鉱工業生産は前年同月比で4.6%増、前月比では1%減となり、2011年7月以来の低水準となった。Polski企業開発銀行のモラフスキ氏は、「この結果は、ポーランドがユーロ圏の混乱による影響を受けつつあることを示す明らかな最初の兆候」とコメント。

エネルギー規制局がガス価格引き上げを認可【20日】

約5か月にわたるPGNiG社との交渉の結果、エネルギー規制局(URE)は新たなガス価格を認可。これまでPGNiG社は、ズロチ安による輸入コストの上昇を穴埋めできない価格でガスを販売してきたことから、巨額の損失を計上していた。小売価格は平均7.2%、産業向け価格は同16.1%の値上げとなる。3月31日に発効し本年末まで有効。

専門家、「多くの新規発電所建設計画は非現実的」と発言【20日】

ワルシャワ工科大学のズミエフスキ教授は、新規発電所建設計画の多くが非現実的であり、これらのうち半分でも建設が完了すれば成功だと述べている。同氏は、建設地、期限などを詳細にした契

約が未だ結ばれていないことを指摘した上で、オボレ発電所におけるラファコ社主導のコンソーシアムによる94億ズロチの建設契約に対しては、これまで有効な建設許可が発行されていないとして、とりわけ懐疑的であると述べた。

GE日立社、シチェンに原発建設資材生産拠点の設立を検討【20日】

GE日立原子力エネルギー社(GEH)が、シチェンにおいて、原子力発電所建設に必要な部材の生産拠点(雇用は1,000人程度)の設立を検討中。また、バルト海地域での新規ビジネスが期待できることから、GEHは、ポーランドの原子力プログラムへの参加如何にかかわらずポーランドでの投資に関心を示している。GEHは、年末までに投資先地域を決定する予定。

欧州開発銀行、本年の投資見込みを発表【21日】

欧州開発銀行は、ポーランドに対し、2012年は5~6億ユーロの投資を行う予定と発表。同銀行は金融とエネルギー部門に重点的に投資したいと考えている。特にエネルギー部門では再生可能エネルギー、ガス、電力の供給、省エネ製品の開発、相互網の整備などが挙げられている。2011年の同銀行によるポーランドへの投資額は9億ユーロで過去最高だった。

ベルカ中央銀行総裁による経済見通し【21日】

ベルカ中央銀行総裁は、主に輸出と消費の落ち込みにより経済減速が予想されると発言。西側諸国の経済減速により1月以降輸出が落ち込んでいる他、消費も2011年第4四半期から減速していると指摘。ズロチ安がポーランド家計に影響を与えたかとの問いに対し、経済成長停滞の要因の一つではあったと指摘。他方、生産は落ち込んでいるものの、景気後退ではなく、あくまで経済減速であると強調している。

ポーランド国債の外国人保有率が上昇【21日】

ポーランド国債の外国人保有者の割合が2008年12月の34.5%から2012年1月末には50.8%まで上昇していると財務省が発表。国内債務に対する外国人債権者の割合は、同じく2008年末の13.3%から2012年1月末時点では30.6%

に上昇している。

所得格差の是正が進む【21日】

欧州統計局の発表によると、ポーランドのジニ係数(高所得者と低所得者の所得差)はEU平均を上回る31.1%だった。2005~2010年でポーランドの指数は4.5ポイント下落し、EU内で最大の下落であった。レヴィアタンの専門家は、引き続き下落していくと予測。賃金上昇の加速と雇用の伸びが不均衡は正に貢献しているとみられ、所得は2010年には2005年比で29%上昇、最低賃金も同35%以上上昇している。

政府の投資促進計画、経済・財務両省で合意【21日】

投資家が公的補助を獲得する際の新たな基準について、経済省と財務省との間で合意が成立。新たな手続きはより単純化され、より透明性の高いものになった。例えば優先部門(自動車、電子機器、航空、バイオなど)で投資額が3億5000万ズロチを超える案件や、近代的サービス部門で少なくとも500人の新規雇用が創出される案件、加えてそれ以外の部門で投資額が10億ズロチを超え更に500人以上の新規雇用が創出される案件については、経済特別区における減税、政府からの補助金、EUからの補助金を複合的に受け取ることができる。また、補助金申請額が300万ズロチ未満の案件については上記制限の対象外となる。この政府の投資促進にかかる10年計画は既に2011年5月に施行されており、10年間で事業総額は7億2700万ズロチとされている。

地質学研究所がシェール・ガスの推定埋蔵量を発表【21日】

ポーランド地質学研究所は、ポーランドにおけるシェール・ガス埋蔵量は3,460億~7,680億 m^3 、最大で1.92兆 m^3 であると発表した。米国エネルギー情報局が昨年公表した5.3兆 m^3 という推定埋蔵量よりも格段に小さい規模であるが、ポーランドの在来型ガスの埋蔵量(1,450億 m^3)の1.5~5.5倍となる。また、在来型ガスとシェール・ガス埋蔵量を合わせれば、ポーランドの年間ガス消費量(145億 m^3)を35~65年間賄うことが可能な量である。

社 会

中古車がより人気に【15日】

TNS OBOP社の調査によれば、7%のポーランド人が自家用車の購入を計画しており、うち55%が1年以内、33%が2年以内の購入を計画と回答。前

年調査と同様の傾向だった。興味深い点は、既に車を所有しているの方が、非所有者より購入を検討している割合が高いことである。また、大半(90%)が中古車の購入を検討しており、新車の購入に興味

を示す人の割合は前年比10%落ち込んでいる。

ポーランドでは、3月25日の午前2時をもって夏時間が開始される。同時刻を1時間進め、午前3時とする。

25日から夏時間が開始【21日】

大使館からのお知らせ

平成24年度分教科書の配付について

大使館では、ポーランド在住の邦人子女を対象に、平成24年度分教科書を配付いたします(ワルシャワ日本人学校に通学しているお子様には学校から配付されますので、今回の配付の対象とはなりません)。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20120201.html

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成24年3月31日(土)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

〔開催中〕 展示「ポーランドのポスターで見る日本映画」【3月20日(火)～4月30日(月)】

当館広報文化センターにおいて、ポーランド人のアーティストがデザインした日本映画のポスターの展示が開催されています。同コレクションは、日本美術技術博物館マンガの所蔵品です。入場は無料です。

問合せ先・開催場所： 在ポーランド日本国大使館広報文化センター(住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話：22 584 73 00, e-mail: info-cul@emb-japan.pl)

〔予定〕 第33回日本語弁論大会【3月24日(土)】

当館広報文化センターにおいて、第32回日本語弁論大会が開催されます。日本語を勉強している学生、高校生等が3分間のスピーチを行います。テーマは、「異文化理解」、「現代における問題」、「私に大切なもの」、「私の将来へのメッセージ」から選ばれます。入場は無料です。

問合せ先・開催場所： 在ポーランド日本国大使館広報文化センター(住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話：22 584 73 00, e-mail: info-cul@emb-japan.pl)

〔予定〕 第10回日本文化講座「日本の伝統建築」【3月26日(月)】

当館広報文化センターにて、日本文化及び伝統美術・建築の研究者である飯島照仁博士の講演が行われます。参加は無料です。講演は日本語で行われ、ポーランド語に通訳されます。座席数に限りがありますので、参加ご希望の方は、広報文化センターまでご連絡下さい。

問合せ先・開催場所： 在ポーランド日本国大使館広報文化センター(住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話：22 584 73 00, e-mail: info-cul@emb-japan.pl)

〔予定〕 「和の祈り」コンサート【3月28日(水)・29日(木)・31日(土)】

ポーランド室内合唱団主催により、ウッジ(3月28日)、ワルシャワ(3月29日)及びグダンスク(3月31日)にて、日本の若手の合唱団を招待しての「和の祈り」コンサートが開催されます。コンサートでは、広島原子爆弾投下の犠牲者に捧げるため、多くの日本の歌が唱われます。

問合せ先：ポーランド室内合唱団(住所：Opata Jacka Rybickiego, Gdansk-Oliwa, 電話：58 552 41 73, Eメール：info@polskichorkameralny.pl, ホームページ：<http://www.polskichorkameralny.pl>)

開催場所：

3月28日 ウッジ市博物館(住所：Ogrodowa 15, Lodz, 電話：42 254 90 52)

3月29日 ショパン音楽大学(住所：Okolnik 2, Warszawa, 電話：22 827 72 41, Eメール：info@chopin.edu.pl)

3月31日 アルトゥス邸(住所：Dlugi Targ 43/44, Gdansk, 電話：58 552 41 73)

〔予定〕第12回ポーランド小松流空手選手権大会【3月31日(土)】

守礼の門団体主催により、ウッジにて、第12回ポーランド小松流空手選手権大会が開催されます。空手大会の他、着物・書道・人形展、折紙・書道ワークショップ等、日本文化に関する様々なイベントが予定されています。

問合せ先：守礼の門団体(住所：Al. Kopcińskiego 41/18, Łódź, 電話：48 601 25 06 02, Eメール：a.matlinski@wimat.com.pl, ホームページ：<http://emce2.pl/domeny/emce2.pl/sureinomon/>)

開催場所：MOSIR スポーツホール(住所：Skorupki 21, Łódź)

読者からの情報提供**国立音楽大学附属高校合唱部による演奏会開催【3月28日(水)】**

国立音楽大学附属高等学校合唱部が、同校の海外演奏旅行の一環として、クラクフ第一高校(Liceum Ogólnokształcące im. B. Nowodworskiego)において演奏会を開催します。同演奏会は、国立音楽大学附属高校とクラクフ第一高校の両校による交流演奏会として開催されるものです。

日時：3月28日(水) 11時10分開演(12時終了予定)

開催場所：クラクフ第一高校内講堂(住所：pl.Na Groblach 9, 31-101, Krakow)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsmail@emb-japan.pl

(ご連絡は電子メールでお願いします。)